

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	東京都における心血管(循環器)緊急症の1年予後の検証
研究責任者	池ノ内 浩
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>[背景] Coronary Care Unit (CCU)は1960年代に急性心筋梗塞患者の救急集中治療を目的に運用が開始されました。東京都CCU連絡協議会(東京都CCUネットワーク)も東京都の支援のもと、1970年代にその活動を開始し急性心筋梗塞患者の命を守る救急医療に邁進しております。そして、救急医療体制の構築と急性心筋梗塞の再灌流療法の普及にともない急性心筋梗塞の院内死亡率は発症当初の20%前後から2000年には6%前後と改善しました。しかし、大都市・東京では新たな課題が出現することとなります。高齢化社会に突入したわが国・東京では急性心筋梗塞ばかりでなく不安定狭心症を含む急性冠症候群、急性心不全(慢性心不全急性増悪を含む)、不整脈、肺塞栓症、急性心筋炎、たこつぼ心筋症、心血管原性ショック・心停止などの循環器緊急症の救急医療の構築が課題となったのです。このため、今日では東京都CCUネットワークはCardiovascular Care Unitとして循環器緊急症に陥った東京都民の命を守る役割を担ってその活動を強化しております。それぞれの地域の循環器緊急症の救急医療の質を向上させるには、それぞれの国・地域にあった循環器救急医療体制を検証し構築することが必要です。ある国やある都市において“最適”の循環器救急医療体制が、大都市・東京に当てはまるか否かは絶えず検証し構築していく必要があります。大都市・東京の循環器緊急症の救急医療を展開していくには、東京都CCUネットワークに収容した循環器緊急症患者を自ら検証し、そしてたえずその構築をしていく必要があると考えます。</p> <p>[研究目的] 東京都CCUネットワークで収容、登録された循環器緊急症の1年後の生死と退院後から1年までの入院イベントを調査し、循環器緊急症の救急医療体制を検証することが目的です。</p>
研究方法	<p>[対象患者] 2023年1月1日から2027年12月31日までの期間において 当センターに収容、登録された循環器緊急症患者</p> <p>[適格基準] 日本循環器学会のガイドラインの診断基準を満たした循環器緊急症患者</p> <p>[除外基準] 医師の判断で不適切と判断された場合</p> <p>[中止基準] 対象者により同意が撤回された場合</p> <p>[方法] 研究対象者の1年予後を調査します。 1) 当センターにて対象患者のデータを収集(既存情報)します。CCU収容患者詳細調査ソフトに入力し、東京都CCUネットワークホームページにある会員専用ページにログイン、臨床データをアップロードします。アップロードデータには個人情報含まれず匿名加工データとなります。 2) 通院していない患者の予後については、電子カルテの記録に基づきデータを収集致します。 3) ネットワーク事務局は、アップロードされたデータからさらに施設名を削除し、緊急症別(急性心筋梗塞班、狭心症班、急性心不全班、不整脈班、肺塞栓症班、急性心筋炎班、たこつぼ心筋症班、ショック・心停止班)に分類し、学術委員に該当症のデータをCDにて提供します。 4) それぞれの循環器緊急症に対する救急医療体制(病院前救護)、当該入院における臨床データと1年予後を検証します。</p> <p>[個人情報の保護および本研究について] 当センターに緊急入院した循環器緊急症の登録後患者データでは、2022年3月10日一部改正の倫理指針(人を対象とする生命科学・医学系研究)に従い、個人情報を保護し、前向き調査を行います。多施設、前向きコホート研究、探索的臨床研究であり、介入・侵襲はありません。</p> <p>[研究結果の公表] 本研究の研究成果は、個人情報管理を徹底したうえで、学術集会や学会誌に発表します。この研究に参加を希望されない場合はご連絡ください。参加を希望されなくとも、不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 循環器内科 部長 池ノ内 浩 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p>